

令和8年度第1回名取市図書館協議会議事録

日 時	令和8年6月4日（木） 15：25～16：15
場 所	増田公民館 講義室
出席委員 5名	山田 里香委員、齋藤 勇介委員、松本真奈美委員、相模 誓雄委員、中山 和枝委員
欠席委員	無
事務局出席者	名取市教育委員会 教育長 鈴木 博幸 // 生涯学習課 課長 大元 純子 名取市図書館 館 長 加藤 孔敬 // 主 幹 菊地 栄一 // 司 書 千田 由紀 // 司 書 篠崎 恵梨
傍 聴 人	なし

会 議 概 要

1 開 会 15：25～

2 辞令交付 教育長より代表受領にて辞令交付（代表受領：山田 里香委員）

3 あいさつ

鈴木教育長

来館者200万人達成イベントでは、（200万人目の）対象となった小学生が非常に嬉しそうで、紙吹雪を浴びながら色々なものを頂いたり、達成感でいっぱいの顔であった。名取市広報にも掲載されているのでお目通しいただきたい。

あるイベントで他市町村から来た方と話をする機会があり、その市には図書館はあるが名取市図書館に通っているという話を聞いた。どうしてかと聞いたら、非常に心地いい空間で読書しやすい。明るくて座席も多くとても嬉しいとのことだった。孫を連れてくるが、特に気に入ってるのは絵本コーナーのレイアウトと装飾が気に入っていて、ぬいぐるみも置いてあり、本を楽しく読む雰囲気が出来ているというお褒めの言葉をいただき大変嬉しくなった。

これもひとえに委員の皆様からの貴重なご意見をいただき、それを図書館で反映しながら運営をしているというところであり、皆様には大変感謝を申し上げる。

今日の議事はその他を含めて3件ある。ぜひ、皆様から貴重な忌憚のないご意見をいただきながら、慎重なご審議をしていただくようお願いを申し上げます。

4 自己紹介（委員・職員）

初回の会議となるので、委員、職員の順に各自自己紹介を行った。

5 会議成立の確認

名取市図書館条例第11条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているため、会議は成立していることを報告。併せて、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となることを報告。

6 会長・副会長の互選

事務局より、条例第 10 条第 1 項の規定（委員の互選によって定める）により、委員から自薦、他薦を求める。

委員より事務局案の声あり。

事務局案として、会長に松本委員、副会長に山田委員を提案。

委員全員の拍手により承認され、会長は松本委員、副会長は山田委員に決定。

（松本委員、会長席に移動。鈴木教育長、公務のため退席）

松本会長あいさつ

ただいま推挙をいただき会長を務めさせていただくことになった松本である。微力ではあるが委員皆様、事務局の皆様方のお力添えをいただきながら、円滑な会議運営に務めてまいりたい。市の図書館が多くの市民の皆様に親しまれ、地域に根ざした生涯学習の拠点となるよう皆様と意見を交わしてまいりたい。

7 議 事

条例第 11 条第 1 項の規定により、松本会長が議長となり議事を進行。

松本議長

はじめに、(1) 令和 7 年度事業報告について、事務局より説明をお願いしたい。

(1) 令和 7 年度事業報告について

→スライドを使用しながら千田司書より令和 7 年度事業報告について説明。

(2) 令和 8 年度事業計画について

→スライドを使用しながら千田司書より令和 8 年度事業計画について説明。

「来館者 200 万人達成イベント」及び「書店連携推進事業」については菊地主幹が説明。

松本議長

(1) 令和 7 年度事業報告に加え、(2) 令和 8 年度事業計画についても説明いただいた。この 2 つの議事を併せて委員から意見を伺う。委員一人ずつ順番に質問、意見などいただきたい。

山田委員

感想になるが、資料と画像を見せていただき、なかなか小学校でも学年が上がっていくと活字離れ、今は本とかよりも ICT 機器の動画などに飛びついてしまうが、昨年度の取り組みや今年度の計画等で、小さい段階から絵本に親しませるということで、特に最後の「なとりっこすくハピ応援事業」はすごく素晴らしい取り組みだという感想を持った。差し上げる時は、ある程度お子さんが選ぶということだったが、新しいものを用意しておいてお子さんがこれという風に、その場で選ぶ感じなのか。

事務局（千田）

一応見本図書として用意しているものの中で「これ」って言われたら新品を出してきてお渡しするようになっている。先にリストの方が家にあるので、家で話し合ってお子さんが「これ」って決めてきて、カウンターの方に来た時に「本当にこれでいいの？」とお母さんが聞いても、お子さんが「それがいい」と、自分の意志ではっきり決めていることが多いように感じられる。

山田委員

子供たちが自分で選ぶことは、すごく大事なことだなと思った。自分が選んだ本はすごく大事にすると思うので、素晴らしいと思う。

齋藤委員

私も感想のような形になってしまうが、やはり普段の図書館の皆様の取り組みから、やはり雰囲気、図書館に足を運びたくなるような雰囲気作りというのが、利用者増に繋がっていると思う。ICT 化が進んでいて、借りなくても家で本を読めるような状況の中であっても、利用者数が伸びているといったところは、ここの図書館自体に、価値を見出して来られているというところがよく分かるデータである。

また、公民館等でも、下増田公民館の貸出冊数がかなり減っているが、仕事柄、公民館に足を運ぶと、必ず階段の図書コーナーでたくさんの子供たちが絵本を手にとって読んでいる。そういう意味では、公民館で本が手に取れる、そこで読みたくなるような雰囲気作りというの、各公民館等でも取り組んでいるというところが印象的である。

さらに、未来屋書店との連携推進事業のところも、民間書店とのコラボで、今までいい形で作り上げてきた雰囲気に新たな視点が入り、令和 8 年度もよりブラッシュアップをかけながら図書館運営に努めてもらえるものと、期待もすごく膨らんだところである。ぜひ今後ともよろしく願いたい。

相模委員

2 ページ目の貸し出しについてであるが、先ほど個人の方は減ったが団体の方が増えていると話があったが、この団体というのは差し支えなければどういった団体が主に利用されていて、そういった団体向けに何か PR とかしているのかどうかをお聞きしたい。

加藤館長

内訳としては、保育所、保育園の先生方の利用が増えてきており、大部分は読み聞かせのボランティアである。特に保育園の方々が、先生方が日中来られて団体貸出 100 冊くらいコンテナに詰めて持っていき、また返して、多分園児の子供たちに読んで聞かせてあげているということで利用いただいている。

そのきっかけであるが、一昨年度に雑誌スポンサーを職員と営業して、雑誌のスポンサー以外に団体利用も可能であるということを PR した経緯があり、そこから徐々に増え始めて、そういった効果が出てきているという状況である。

相模委員

もう一点、4 ページのレファレンス、対面でのレファレンスがだいぶ増えてきているということであるが、これも何か特別な取り組みとかされたのか。

事務局（加藤館長）

私たちもできるだけ利用者の方に笑顔で、ありきたりかもしれないが、とにかくちょっと声を掛け合うような環境を心がけたり、挨拶を心がけたり、そういった部分で返しの部分として利用者の方から問われる機会がある。また、結構高齢の方が自分で探すよりも、カウンターで聞かれる方が多くある。その部分もできるだけ丁寧に案内するということを心がけてきた。

中山委員

新しいイベントや企画をたくさんしているが、企画展示のところで、随分色々な行政とか団体関わっているようだが、図書館の方から働きかけているのか、それとも行政の方とかその団体の方から「こういう企画お願いします」みたいな形でされてるのか。

事務局（加藤館長）

大体が市役所の方から話があるが、あとイベント開催時に逆に図書館の方で PR をさせてもらっている部分がある。例えば、宮城県農業高等学校の科学部の皆さんだが、としょかんこどもまつりで先日来ていただいたが、その際に「うちの図書館で何か PR を取り組みの中で広めたいことがあったら活用ください」と話をしたところ、昨日から展示が始まったが、サクラプロジェクト。ソメイヨシノに寿命があるということで、そういった部分で自分たち科学部が研究してきた成果を市民の皆さんに見てほしい

ということで、パネル展示をこちらの方でしていただいた。

松本会長

令和7年度の事業報告、令和8年度の事業計画について、それぞれ承認ということでよろしいか。
(全員拍手により承認)

(3) その他

松本会長

それでは(3)のその他について、事務局の方からいかがか。

事務局(加藤館長)

予め配布したチラシ、「読書マラソン」、「書店連携推進事業(未来屋書店×コクヨ㈱×㈱金入)」、「第11回図書館を使った調べる学習コンクール」について説明。

松本会長

その他、委員の皆様方からいかがか。なければこれをもって、本日の議事一切を終了させていただきたい。

9 閉会あいさつ

山田副会長

本日は令和7年度の事業報告と令和8年度の事業計画について、昨年度の実績を元に今後の方向性を形作る有意義な話し合いができたと思う。本年度も子供たち、そして学校、名取市民に向けて、非常に発信力のある図書館運営をしていただいていることに感謝申し上げます。

本校でも朝読書や読み聞かせの方を進めている。子供たちがそれで気軽にまず本を手にとって親しめるということを目的にして現在やっているところである。読書のメリットは大きいとはわかっていても、なかなか個人で機会を作って継続というのは少しハードルが高いという方もいると思う。そのような中で、気軽に本に触れて自分を豊かにしたり、高めたりするには最適な場所というのが図書館なのかなと思う。今後とも図書館と連携させていただき、読書の良さを伝えていくことを続けながら、名取市図書館の運営に微力ながらお手伝いできればと思う。

10 閉 会

事務局(菊地)より閉会を宣言して終了。～16:15

以上